

第4章 創業者の創出・新たな産業の創出

1 創業に関する現状

(1) 創業支援の状況

地域経済の活性化や自立的な発展、新たな雇用の創出を図る上で、創業に向けた取組を積極的に支援することは重要な課題であり、国においても創業への取組に対して、資金・人材・市場開拓等多面的な支援が行われています。

地域経済の将来を担う創業者を育成するためには、創業に役立つ良質な情報の提供を行い、創業しやすい環境を整備するとともに、創業者の飛躍的な成長を図るための専門家による経営や財務をはじめとする各種支援も必要です。

また、地域社会において、環境保護、高齢者・障害者の介護・福祉から、子育て支援、まちづくり、観光等に至るまで、多種多様な社会課題が顕在化しつつあり、このような地域社会の課題解決に向けて、住民、NPO、企業など、様々な主体が協力しながらビジネスの手法を活用して取り組むのが、ソーシャルビジネスです。

このような中、地域の課題解決に資する社会的事業を新たに創業する方を対象に、創業のための伴走支援と事業費への助成を通して、効果的な創業を促進し、地域課題の解決を通して地方創生を実現することを目的として、令和元年度から都道府県が地方創生起業支援事業を実施しています。

(2) 創業支援等事業計画

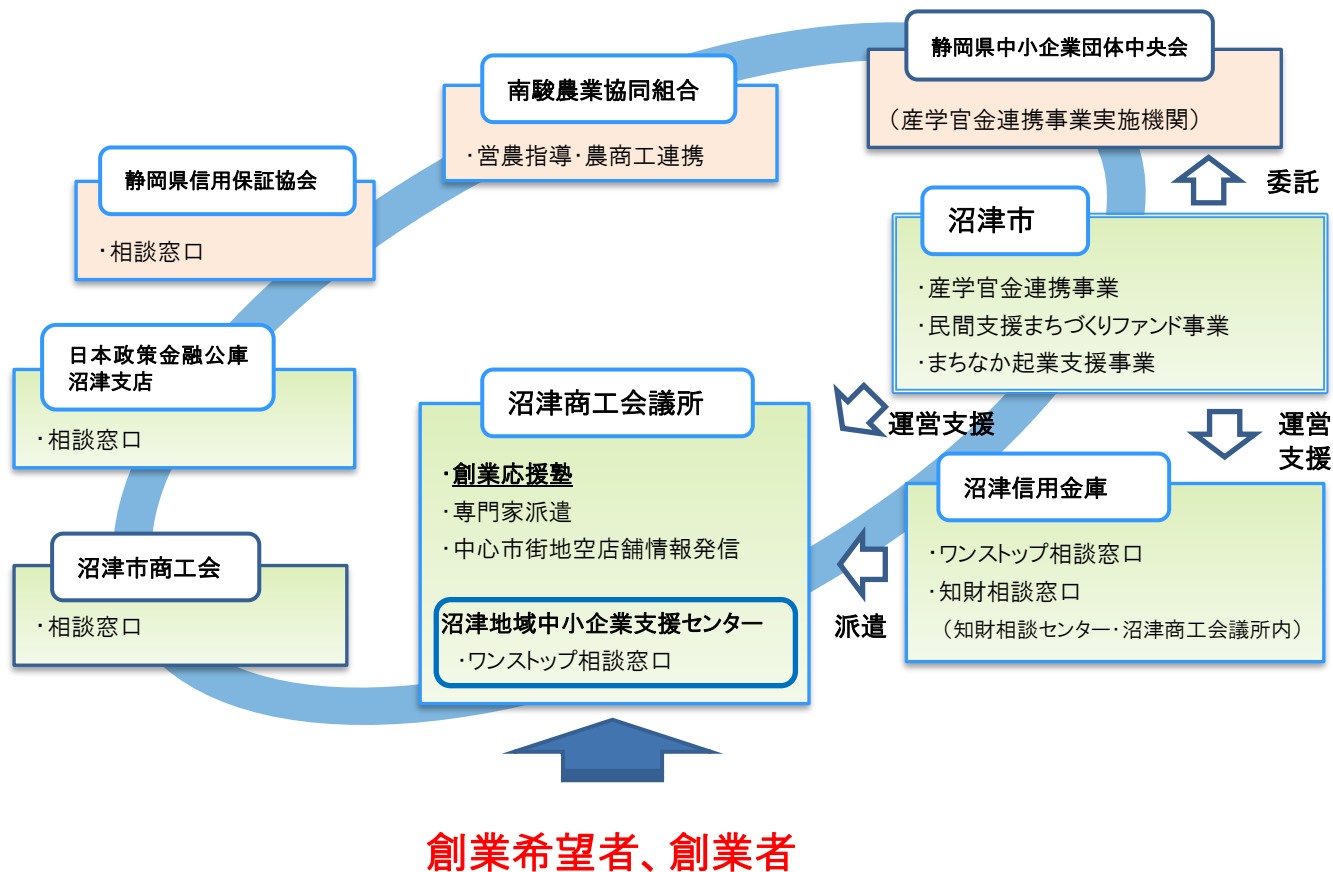
平成 26 年1月に施行された「産業競争力強化法」では、地域の創業を促進させるため、市区町村が民間の創業支援事業者(地域金融機関、商工会議所・商工会等)と連携して、ワンストップ相談窓口の設置、創業セミナーの開催、コワーキング事業等の創業支援を実施する「創業支援等事業計画」について、国が認定することとしています。

本市においては、平成 26 年6月に創業支援等事業計画の認定を受け、この計画に基づき、創業者のニーズに合わせたセミナーの開催や、相談対応・情報提供などを実施しているほか、沼津商工会議所・沼津市商工会などの支援機関と強固な支援体制を構築するため、ぬまづビジネスサポート連絡会(ぬまサポ)を組織しています。

沼津地域中小企業支援センターにおいてワンストップ窓口を開設して相談者の対応にあたるほか、相談内容に応じて、ぬまサポを構成する支援機関が連携して相談対応などを行っています。

このように、支援機関の連携を強化し、創業の実現を目指すとともに、創業後のフォローアップ体制も整備するなど、切れ目のない創業支援を行うことで、安定した経営に寄与することを目指しています。

ぬまづビジネスサポート連絡会(ぬまサポ)



(3) 創業者の推移

本市の年平均開業率(事業所の総数に占める新設事業所の割合)は 4.5%となっており、静岡県の年平均開業率(4.6%)とほぼ同水準となっています。

産業分類別では、情報通信業、運輸業・郵便業、卸売業・小売業、不動産業・物品賃貸業などで静岡県の開業率を上回っています。

年平均開業率

	新設事業所数		年平均開業率	
	静岡県	沼津市	静岡県	沼津市
全産業(S公務を除く)	16,019	939	4.6%	4.5%
A～B 農林漁業	55	2	3.9%	3.5%
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	2	-	1.7%	-
D 建設業	1,175	73	3.3%	3.9%
E 製造業	896	49	2.2%	2.1%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	19	1	7.7%	10.4%
G 情報通信業	139	14	5.5%	6.2%
H 運輸業, 郵便業	406	25	5.1%	5.6%
I 卸売業, 小売業	4,077	257	4.7%	4.9%
J 金融業, 保険業	314	24	5.9%	5.1%
K 不動産業, 物品賃貸業	621	51	2.9%	4.0%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	654	43	5.0%	4.7%
M 宿泊業, 飲食サービス業	2,968	140	6.7%	4.8%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	1,550	86	5.1%	5.0%
O 教育, 学習支援業	687	32	6.2%	5.1%
P 医療, 福祉	1,566	93	7.1%	7.2%
Q 複合サービス事業	24	-	1.2%	-
R サービス業(他に分類されないもの)	866	49	4.2%	3.7%

※平成 26 年経済センサス基礎調査及び平成 28 年経済センサス活動調査をもとに算出

また、沼津市創業支援等事業計画に基づき、平成 27 年度から市主催の各種セミナーを開催しており、令和元年度は 97 名がセミナーに参加しています。

沼津商工会議所主催の創業応援塾の参加者や沼津地域中小企業支援センターの相談者など、ぬまサポの支援を受けた創業者数は、近年では年間 50 件程度で推移しています。

本市の創業者数を業種別で見ると、宿泊業・飲食サービス業、卸売業・小売業、生活関連サービス業、建設業などの割合が多くなっています。

市主催の創業セミナー参加者

年度	H27	H28	H29	H30	R1
小規模創業セミナー	56	-	54	12	6
創業セミナー(その他)	-	30	-	-	19
女性創業者セミナー	-	-	-	39	55
ソーシャルビジネスセミナー	-	-	-	-	17
合計	56	30	54	51	97

創業者数

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1
建設業	2	9	2	8	7	5
製造業	1	0	4	4	6	5
卸売業・小売業	4	5	9	9	4	5
宿泊業・飲食サービス業	10	3	12	18	13	6
生活関連サービス業	3	4	2	5	8	8
医療・福祉	3	3	5	10	2	5
その他のサービス業	16	8	13	15	10	10
合計	39	32	47	69	50	44

2 新たな産業の現状

(1) 新たな社会Society5.0

国では、目指すべき未来社会の姿として、イノベーションで創出される新たな価値により、格差なくニーズに対応したモノやサービスを提供することで、経済発展と社会的課題の解決を両立する新たな社会(Society5.0)が提唱されています。

新たな社会(Society5.0)の到来は、これまでの産業構造を大きく変化させる可能性があり、IoTやAI、ビッグデータなどを活用した新たな技術をベースにして、これまでにない商品・サービス・産業が創出されることにより、市内経済の活性化が図られることが期待されています。

既存産業がデータの利活用を通じてITと融合した新たな付加価値を獲得し、異分野のビジネスを生み出すことが重要であり、IT・データ利活用による新産業創出には、規制・制度面での支援の他、民間企業の新産業創出に向けた取組を後押しするための支援も求められています。

また、地域の特長を生かした新たなビジネスの創出により、本市でしか生み出せない価値が付加されたサービスや製品などを創出する必要があります。



※内閣府作成

Society5. 0による新たな価値の事例

<交通>

- 移動支援
 - ・高齢者や障害者でも自律型車いすで一人で移動
- スムーズな移動
 - ・カーシェア・公共交通の組み合わせでスムーズに移動
- 渋滞緩和・事故減少
 - ・自動走行で渋滞なく事故なく快適に移動
- 最適な計画
 - ・好みに合わせた観光ルートの提供、天気よし、混雑なし

<医療・介護>

- 快適な生活
 - ・ロボットによる生活支援・話し相手
- 健康促進
 - ・リアルタイムの自動健康診断・病気の早期発見
- 最適治療
 - ・生理・医療データの共有による最適医療
- 負担軽減
 - ・医療現場でのロボットによる介護支援

<ものづくり>

- サプライヤーにおける競争力強化・災害対応
 - ・ニーズに対応したフレキシブルな生産計画・在庫管理
- 工場における人手不足解消・多様なニーズ対応
 - ・AIやロボット活用、工場間連携による生産の効率化、省人化
 - ・熟練技術の継承(匠の技のモデル化)
 - ・多品種少量生産
- 物流におけるGHG(温室効果ガス)排出削減・人手不足解消
 - ・異業種協調配送、トラック隊列走行による効率化
- 顧客における顧客満足度向上
 - ・特注品が安価で入手、納期遅れなし

<農業>

- 超省力・高生産なスマート農業
 - ・農作業の自動化、省力化
 - ・生育情報の自動収集

- ・天候予測や河川情報に基づく水管理の自動化、最適化
- AIのサポートで最適な営農計画
 - ・ニーズに合わせた収穫量の設定
 - ・天候予測などに併せた最適な作業計画
 - ・経験やノウハウの共有
 - ・販売先の拡大
- 欲しい消費者へ欲しい時に配送
 - ・消費者のニーズに合わせた農産物の自動配送

<食品>

- 利便性向上
 - ・アレルギー情報や個人の嗜好に合わせた商品の提案
- ロス削減
 - ・冷蔵庫の食材管理
 - ・必要な分だけ発注・購入
- 快適な食事
 - ・家族の嗜好や健康状態に合わせた料理の提案
- 経営改善
 - ・在庫の最適管理
 - ・ニーズに対応した発注

<防災>

- 安全な避難
 - ・個人のスマホに避難情報が提示され、安全に避難所まで移動
- 迅速な救助
 - ・アシストスーツや救助ロボットにより被災した建物から救助
- 物資の最適配送
 - ・避難所にドローンや自動配送車により救援物資が配送

<エネルギー>

- エネルギーの地産地消、地域間での融通
- 的確な需要予測
- 多様なエネルギーの使用、環境低負荷
- 家庭での省エネ

※内閣府の資料をもとに作成

(2) ファルマバレープロジェクト・AOIプロジェクトなど、静岡県との連携による新たな産業の振興

本市では、静岡県や県東部地域の市町と連携して、先端医療健康産業の集積を図るため、地域の産学官金が協働した「ファルマバレープロジェクト」を推進しています。

また、先端的な科学技術の活用による革新的な栽培技術開発を進め、農業の飛躍的な生産性向上を図るとともに、農業を軸とした関連産業のビジネス展開を促進する「AOIプロジェクト」の推進を静岡県と連携して取り組んでいます。

企業立地については、医薬品製造業や医療用機械器具・医療用品製造業などのファルマバレープロジェクトに関連する企業や、植物工場などのAOIプロジェクトに関連する企業などについては、企業立地促進事業費補助金において成長分野に指定し、積極的に促進しています。

また、市街化調整区域における開発行為等の審査基準において、「次世代産業に該当する業種の工場等」に指定し、市街化調整区域における立地を認めることにより、積極的な企業立地を促進しています。

※次世代産業に該当する業種の工場等(再掲)

ア 予定建築物

沼津市企業立地促進事業費補助金交付要綱(平成 18 年3月 22 日市長決裁)別表第4下欄に規定する工場であって、以下のいずれかに該当すると市長が認めるもの。

(ア) 静岡県新産業集積クラスター(ファルマバレー、フーズ・サイエンスヒルズ、フォトンバレー)のプロジェクトに参画し、各プロジェクトに関連する製品を製造する工場

(イ) 医療・福祉機器、ロボット、航空宇宙、光・電子、環境技術(新エネルギー、次世代輸送機器)等に関連する製品を製造する工場

(ウ) (ア)及び(イ)に掲げるもののほか、自然素材を活用した医薬部外品等、健康関連の製品を製造する工場

イ 敷地面積

5ha 未満であること。

参考: 沼津市企業立地促進事業費補助金交付要綱 別表第4

区分	対象施設
<p>製造業(次に掲げる業種に係るものに限る。)</p> <p>(1)食料品製造業</p> <p>(2)清涼飲料製造業</p> <p>(3)酒類製造業</p> <p>(4)茶・コーヒー製造業</p> <p>(5)医薬品製造業</p> <p>(6)医療用機械器具・医療用品製造業</p> <p>(7)X線装置製造業</p> <p>(8)医療用電子応用装置製造業</p> <p>(9)医療用計測機器製造業</p>	<p>工場(主として左欄に掲げる製造業の用に供する工場に限る。)</p>
<p>1 製造業(次に掲げる業種に係るものに限る。)</p> <p>(1)化学繊維製造業</p> <p>(2)炭素繊維製造業</p> <p>(3)化学工業(化学肥料製造業、塩製造業、医薬品製造業を除く)</p> <p>(4)プラスチック製品製造業</p> <p>(5)ゴム製品製造業(医療・衛生用ゴム製品製造業を除く)</p> <p>(6)窯業・土石製品製造業</p> <p>(7)鉄鋼業</p> <p>(8)非鉄金属製造業</p> <p>(9)金属製品製造業</p> <p>(10)はん用機械器具製造業</p> <p>(11)生産用機械器具製造業</p> <p>(12)業務用機械器具製造業(医療用機械器具・医療用品製造業、武器製造業を除く)</p> <p>(13)電子部品・デバイス・電子回路製造業</p> <p>(14)電気機械器具製造業(医療用電子応用装置製造業、医療用計測機器製造業を除く)</p> <p>(15)情報通信機械器具製造業</p> <p>(16)輸送用機械器具製造業(鉄道車両・同部品製造業を除く)</p> <p>(17)その他の製造業</p> <p>2 製造業(1に掲げる業種に係るものを除き、ナノセルロースを製造するもの及びナノセルロースを原料又は材料とするものに限る。)</p> <p>3 耕種農業</p>	<p>工場(主として左欄に掲げる製造業の用に供する工場であって、市長が別に定めるものに限る。)</p>

3 創業者の創出・新たな産業の創出に係る課題

本市経済の活力を向上させるためには、市内事業者における既存事業の生産性向上・収益性向上だけでなく、新たに事業に取り組む創業者の創出や、社会環境の変化に応じたイノベーションにより、新たな商品・サービス・産業の創出も欠かすことができません。

特に、創業者の創出については、創業に必要な手続きや準備に関するセミナー等の開催などを通じて情報の提供・発信を行うなど、創業支援等事業計画に基づいて、支援機関と連携して、創業しやすい環境づくりや機運の醸成に取り組む必要があります。

また、本市へのIT企業の立地については徐々に進んできていますが、Society5.0に関連する企業の立地は現時点ではまだまだ少ないのが現状です。

IoT・AI・ビッグデータなど第四次産業革命と言われる技術の革新や、Society5.0と言われる未来社会の構築に向けた取組、SDGsなどの持続可能な社会形成に向けた取組、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化などに対応した新たな取組に挑戦する個人事業者や企業への支援や誘致が求められています。

4 創業者の創出・新たな産業の創出に係る施策の基本方針

将来の地域産業を支える創業者の創出を図るため、創業しやすい環境づくりや機運の醸成に取り組み、創業セミナーの参加者を増やすことにより、創業件数の増加を目指します。

また、グローバル化やIT化の進展、新型コロナウイルス感染症による影響などにより、これまでにない速度で変化している社会経済環境を的確に捉え、時代のニーズに対応した成長力のある新たな産業の創出を図ります。

成果目標

項目	現況値	目標値
ぬまづビジネスサポート連絡会 (ぬまサポ)の支援を受けた創業件数	44 件(R1)	70 件(R7)

活動目標

項目	現況値	目標値
市主催の創業セミナー参加人数	97 人(R1)	120 人(R7)

(1) 創業の支援

創業支援機関と連携し、地域産業の新たな担い手となる創業者の創出を図ります。

① 創業支援機関と連携した伴走型創業支援

これから創業しようとする人や創業間もない人に対する相談窓口を設置し、創業や経営革新に向けた相談業務や情報提供等を行います。

また、創業者が必要となる知識を習得するためのセミナーを開催し、創業者の育成を行うとともに、新たなビジネスを生み出すワーキングスペース・シェアオフィスについて、民間事業者と連携した環境整備や利用促進を図り、創業しやすい環境づくりを推進していきます。

事業名称	継続・新規
沼津地域中小企業支援センター運営事業	継続(平成 18 年度から実施)
創業セミナー開催事業	継続(平成 27 年度から実施)
開業パワーアップ支援資金等利子補給事業 (再掲)	継続(平成 30 年度から実施)

事業名称	沼津地域中小企業支援センター運営事業
事業概要	「沼津市創業支援事業計画」において創業相談の中心的役割を担い、また、経営革新計画の作成指導や事業開始後の相談窓口である沼津地域中小企業支援センターの運営を支援する。

事業名称	創業セミナー開催事業
事業概要	主にまちなか(中心市街地)で医療・福祉・教育・文化・商業といったまちを支えるサービスの担い手を育成するため、創業に関心のある方々を対象としたセミナーを開催する。 特に小規模事業(スモールビジネス)に取り組む人や女性創業者を対象に、実際の経営に必要な知識・事例を学ぶセミナーを開催し、創業者の増加・継続的な事業活動の活性化を図る。

② ソーシャルビジネス創出の支援

地域の課題をビジネスの手法で解決し仕事にする取組(ソーシャルビジネス)が注目されています。地域課題・社会課題はますます複雑・多様化する一方、課題解決の担い手・事業者は不足しているため、ソーシャルビジネスの事例や手法を学ぶセミナーを開催し、事業者の発掘・育成を行います。

事業名称	継続・新規
ソーシャルビジネスセミナー開催事業	継続(令和元年度から実施)

事業名称	ソーシャルビジネスセミナー開催事業
事業概要	ソーシャルビジネスの事例や手法を学ぶセミナーを開催し、事業者の発掘・育成を行うことで、社会的課題の解決や地域経済の活性化、雇用の創出に繋がるソーシャルビジネスの促進を図る。

(2) 社会環境の変化に応じたイノベーションの創出

経済のグローバル化が進行している社会経済環境の中、地域の特性を活かしながら時代のニーズに対応した新たな産業の創出や、AI等の活用によるSociety5.0に対応できる産業の育成が求められており、新たな取組に挑戦する事業者を支援します。

① 産学官金の連携による新技術・新商品開発支援

日々進化する技術や市場の動向などを踏まえ、商工業振興に関する支援体制を最適化するため、産学官金の連携を強化します。

また、産学官金が連携して、新技術・新商品開発に取り組む企業の支援を行います。

事業名称	継続・新規
ニュービジネス創出事業(再掲)	継続(平成11年度から実施)
産学官金連携ビジネス強化事業	継続(平成29年度から実施)

事業名称	産学官金連携ビジネス強化事業
事業概要	企業・学術研究機関・金融機関・行政等による連携を強化し、有望な技術・サービスを保有する企業の発掘、新製品・新サービスに関するマッチングセミナーや商談会・専門家派遣などを委託により実施する。

② ファルマバレープロジェクトの推進

ファルマバレーセンターと連携し、医療関連産業の推進を図るとともに、次世代ヘルスケア産業の振興に向けた取組への支援を検討します。

事業名称	継続・新規
富士山麓ビジネスマッチング促進事業	継続(平成22年度から実施)
医療関連産業集積促進事業(再掲)	継続(平成23年度から実施)

事業名称	富士山麓ビジネスマッチング促進事業
事業概要	医療健康関連産業の発展を目的に、静岡県と東部地域 12 市町が参画して実施される、産学官及び医看工連携から創出される製品化ニーズと地域企業が保有する技術とのビジネスマッチングや、地域企業がファルマバレープロジェクトへ参画するためのセミナーなどの事業に対して支援を行う。

③ Society5. 0の取組支援

Society5. 0と言われる未来社会の構築に向けた取組が急速に進展する中、既成概念に捉われない新たなビジネスや働き方が生まれていることから、Society5. 0に関する情報収集を積極的に行い、市内企業への周知・啓発を図ります。

また、このような取組にチャレンジする企業を支援するため、新たな支援制度の検討を行うとともに、Society5. 0に関連する企業の立地を促進するため、市街化調整区域における開発行為等の審査基準について、次世代産業に該当する業種の見直しを検討します。

事業名称	継続・新規
企業立地促進事業(再掲)	継続(平成 19 年度から実施)
ITオフィス等進出事業(再掲)	継続(平成 30 年度から実施)